

第6次川島町総合振興計画（後期基本計画） 現状分析・課題設定

資料4

	現状の把握（指標掲載）	分野	過去数値		現状値	現状（問題点）の分析	課題の抽出（計画掲載）	主要課題
1	人口減少	人口	社会増減△135 自然増減△119 (2014)	社会増減△216 自然増減△162 (2020)	社会増減△57 自然増減△258 (2023)	人口減少に歯止めがかからない。	※課題全体と関連	①持続可能なまちづくり
2	老年人口（高齢化の進行）	人口	5,771人（2014）	6,967人（2020）	7,103人（2024）	急速な高齢化により社会が変化していく。	誰もが安心して暮らせる地域福祉の環境整備	①持続可能なまちづくり
3	交流人口	人口	53,000人（2015）	56,177人（2019）	28,000人（2024）	観光流入が伸びず経済が活性化していない。	観光拠点の結びつき強化 新たな関係人口の創出	③新たな価値の創出
4	昼夜間人口比率	人口	92.9%（2010）	103.1%（2015）	112.3%（2020）	雇用の創出等により、町外者の日中滞在が増加している。	雇用創出による地域経済の活性化 観光拠点の結びつき強化	③新たな価値の創出
5	小中学生の人数	人口	1,490人（2016）	1,243人（2020）	1,062人（2025）	適正な学校規模の確保ができるか懸念される。	子育て支援環境の拡充	①持続可能なまちづくり
6	農地集積率	産業	1.9%（2016）	33.0%（2020）	41.6%（2024）	集積が進み農業経営の効率化が期待される。	町の将来を見据えた戦略的な土地利用	③新たな価値の創出
7	農業就業者	産業	1,348人（2000）	671人（2015）	645人（2020）	継承者が減少し、衰退が進んでいる。	雇用創出による地域経済の活性化	③新たな価値の創出
8	農業生産算出額	産業	22.3億円（2014）	21.6億円（2019）	18億円（2021）	担い手減少等に伴い、農業生産算出額が減少している。	地域産品の流通網の多様化	③新たな価値の創出
9	商工業就業者	産業	10,018人（2009）	11,025人（2016）	12,671人（2021）	従業員数の増加による地域経済の活性化が期待される。	雇用創出による地域経済の活性化	③新たな価値の創出
10	福祉ボランティアの人数	福祉	24人（2015）	26人（2020）	55人（2024）	需要に対して十分なボランティアがいない。	誰もが安心して暮らせる地域福祉の環境整備	①持続可能なまちづくり
11	国民健康保険年間医療費	福祉	2,055,044千円（2016）	1,958,899千円（2020）	2,087,526千円（2023）	国民健康保険加入者は減少しているが、医療費は増加傾向にある。	誰もが安心して暮らせる地域福祉の環境整備	①持続可能なまちづくり
12	小中学生の学力（県平均以上の科目数）	教育	2/14教科（2015）	3/14教科（2020）	1/14教科（2024）	学力が伸びた児童生徒の割合は増加しているものの、県平均を下回っている。	誰もがいきいきと学習できる機会の提供	④教育・子育ての推進
13	情報教育充実への意識	教育	7.3%（2015）	21.7%（2020）	11.5%（2024）	デジタル化に対する意識が薄くなっている。	ICTを活用した情報教育の充実	④教育・子育ての推進
14	避難行動要支援者数	生活	670人（2016）	1,064人（2019）	910人（2024）	災害の際に不安を抱える要支援者が多数いる。	町民、事業者、町の協働による災害対策	①持続可能なまちづくり
15	川島町HPのアクセス数	生活	177,267件（2015）	738,633件（2020）	1,281,678件（2024）	閲覧数が年々増加している。モバイルによるアクセスも増加している。（66.5%）	多様な媒体による効果的な情報共有	②つながりの強化
16	マイナンバーカード普及率	生活	6.7%（2016）	21.1%（2020）	81.5%（2024）	取得率全国平均77.6%より、町取得率が高い。	マイナンバーカードの活用促進	②つながりの強化
17	経常収支比率	行財政	82.9%（2014）	85.6%（2019）	88.9%（2024）	人件費や扶助費などの義務的経費の増加が見込まれている。	※課題全体と関連	①持続可能なまちづくり

【用語説明】

1	社会増減	転入と転出の人口の差による人口増減（転入数が転出数を上回れば「社会増」、転出数が転入数を上回れば「社会減」）
2	自然増減	出生数から死亡数を差し引いた数値（出生数が多ければ「自然増」、少なければ「自然減」）
3	老年人口	65歳以上の人口
4	交流人口	その地域を訪れる人口（通勤、通学、観光、レジャーなど地域に関わりない）
5	昼夜間人口比率	地域における昼間人口と夜間人口の比率を示す指標。（比率が100%を超える場合、昼間の滞在者が多い） 昼間人口とはその地域で働いたり、通学したり、買い物したりする人数、夜間人口とは、通常その地域に住んでいる住民の数を指す
6	農地集積率	受益面積に占める担い手の経営面積の割合のこと
7	農業生産算出額	農産物の生産量と価格を掛け合わせた金額で、農業全体の経済的価値を表す
8	商工業就業者	商業（卸売業、小売業など）と工業（製造業、建設業など）で働いている人
9	福祉ボランティア	社会福祉協議会にて登録されている福祉ボランティア
10	避難行動要支援者数	災害が発生した際に、自ら避難することが困難な高齢者や障害者など、特に支援を必要とする人のこと
11	経常収支比率	自治体の経常的な収入と支出のバランスを示し、持続可能な財政運営ができているかどうかを表す指標 100%以下：経常的な収入で経常的な支出を賄っている状態で、通常は財政状況が健全とされる 100%を超える：経常的な収入だけでは経常的な支出を賄い切れず、借金（地方債）やその他の特別な収入源に依存していることを示す